

第6学年 社会

第6学年の学習到達目標

- (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てるようにする。
- (2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査し、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味をより広い視野から考える力を育てるようにする。

第6学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	1. 日本の歴史		●我が国の歴史上の主な事象 ◆人物の働きや代表的な文化遺産を中心に調べる ◆遺跡や文化財、資料などを活用する
	1 縄文のむらから古墳のくにへ	○米づくりのむらが次第にくにへと発展し、やがて大和朝廷により国土が統一されていく様子をとらえる。	○歴史を学ぶ意味を考える
	2 天皇中心の国づくり	○聖武天皇の大仏づくりを中心に調べ、このころ天皇を中心とした政治が確立したことをとらえる。	○自分たちの生活や歴史的背景について理解と関心を深める
	3 武士の世の中へ	○源頼朝の働きを中心に、このころ武士による政治が始まったことをとらえる。	○我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深める
	4 今に伝わる室町文化	○室町時代の代表的な建物か絵画を調べ、室町文化が生まれたことをとらえる。	・農耕の始まり、古墳、大和朝廷による国土の統一の様子、神話、伝承
	5 戦国の世から江戸の世へ	○織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の中から一人を選んで調べるとともに、調べたことを相互に伝え合い、戦国の世が統一されていく様子をとらえる。 ○徳川家光の働きを中心に、大名統制や鎖国などについて調べ、江戸時代に身分制度が確立し、武士による政治が安定したことをとらえる。	・大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活、天皇中心の政治の確立、日本風文化の起こり
	6 江戸の文化と新しい学問	○伊能忠敬の働きを調べるとともに、歌舞伎か浮世絵、国学か蘭学のうち、それぞれ一つを選んで調べ、社会が安定するにつれて町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことをとらえる。	・源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦い、室町時代の建造物や絵画、武士による政治の始まり、室町文化の成立
7 明治の国づくりを進めた人々	○大久保利通、西郷隆盛、木戸孝允らの働きを中心に、明治維新、文明開化、大日本帝国憲法発布など、日本の近代化が進められていったころの様子をとらえる。	・キリスト教の伝来、織田、豊臣の天下統一、戦国の世の統一	
後期	8 世界に歩み出した日本	○陸奥宗光の条約改正の働きを中心に、日本の国力が充実するにともなって、国際社会における日本の地位が向上していったことをとらえる。	・江戸幕府の始まり、大名行列、鎖国、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学、身分制度の確立、武士政治の安定、町人文化、新しい学問
	9 長く続いた戦争と人々の暮らし	○日中戦争から第二次世界大戦に至る歴史について調べ、敗戦によって国民が大きな被害を受けたことや、中国をはじめとする諸国に大きな損害を与えたことをとらえる。	・黒船の来航、明治維新、文明開化、廃藩置県や四民平等などの諸改革、欧米文化の摂取、近代化
	10 新しい日本、平和な日本へ	○戦後の諸改革やオリンピックの開催について調べ、日本が民主的な国家として出発し、国民生活が向上するとともに、国際社会の中で重要な役割を果たすようになったことをとらえる。	・大日本帝国憲法の発布、日清、日露戦争、条約改正、科学の発展、国力の充実、国際的地位の向上
			・日華事変、第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック、民主的な国家の発足、国民生活の向上、国際社会での役割

<p>2. わたしたちの生活と政治 1 わたしたちの願いを実現する政治 ■災害から人々を守る ■路面電車でまちを元気に</p>	<p>○政治の働きやしくみについて調べ、国民生活と関連して、政治は国民生活の安定と向上をめざす大切な働きをしていることをとらえる。</p>	<p>●我が国の政治の働き ◆調査、資料の活用 ○国民主権、国民生活の安定と向上を図る政治の働き ○我が国の民主政治と日本国憲法の基本的な考え方 ・国民生活への地方公共団体や国の政治の働き ・日本国憲法、国家の理想、天皇の地位、国民の権利と義務</p>
<p>2 わたしたちのくらしと日本国憲法 ■「平和学習の街ヒロシマ」をたずねて</p>	<p>○政治は、日本国憲法の基本的な考え方に基づいて進められていることをとらえる。</p>	
<p>3. 世界の中の日本 1 日本とつながりの深い国々</p>	<p>○わが国と経済や文化の交流などで深いつながりをもっている国々の人々の生活の様子を理解し、平和を願う日本人として世界の国々と協調していくことが大切であることを自覚する。</p>	<p>●世界の中の日本の役割 ◆調査、地図や資料の活用 ○外国の人々と共に生きていくために異文化を理解しあう大切さ ○世界平和の大切さと我が国が世界の中で果たす重要な役割 ・我が国とつながりが深い国の人々の生活の様子 ・我が国の国際交流や国際協力の様子、国際連合の働き</p>
<p>2 世界の未来と日本の役割</p>	<p>○地球上の残されているさまざまな課題に目を向けるとともに、日本の国際社会で果たす役割について考える。</p>	

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点 それぞれ学習を進める中や学習後に評価します。 【自然への関心・意欲・態度】 社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、社会の一員として自覚をもって責任を果たそうとする。 【社会的な思考・判断】 社会的事象から課題を見だし、社会的事象のもつ意味を考え、適切に判断する。 【観察・資料活用の技能・表現】 的確な観察や基礎的な資料の活用を行うとともに、その成果を具体的に表現する。 【社会的事象についての知識・理解】 社会的事象について、その特色や相互の関連を具体的に理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法 ① 児童が身につけた知識・理解・技能だけでなく、児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力などの観点も大切にして評価します。 ② ペーパーテストだけでなく、児童自身が作った作品、発言、ノート、インタビュー資料など様々な方法により評価します。 ③ 学習の進行中に現れる児童の思いや願いを、その都度評価し児童の指導に生かします。 ④ 友達や教師とのかかわり合いの中から、児童自らが、自分自身の学習の仕方や理解の程度などを自己評価したものも参考にします。</p>
--	--

特色ある学習方法

(1)調査活動	<p>○調査を行う前に、各自で調べたいことを整理しておきます。 ○調査カードやノートを使い、調査を行う際のルールやマナーは、事前に学習しておきます。 ○地域の人や身近な人に聞き取り調査します。</p>
(2)資料収集	<p>○教科書や資料集の他、電話、FAX、手紙、コンピュータ、現地資料、新聞、インタビュー資料等を適切に活用しながら調べます。 ○電話のかけ方や資料の集め方は、事前に学習しておきます。 ○歴史的な重要事項を年表から選び出したり関連付けたりします。 ○歴史上の人物については、本や事典などを使って詳しく調べます。</p>
(3)地図の活用	<p>○地図帳を使い、歴史上の人物の出身地、勢力範囲、主な戦いの場所、築いた城の場所などを調べます。</p>
(4)表現活動	<p>○観察・調査、見学、体験などを通して調べたことを、新聞、手紙、年表、紙芝居、劇、絵地図、ガイドブック、コンピュータなど様々な方法でまとめ、発表し合います。</p>

使用教材等

<p>○教科書 「新しい社会6年」(東京書籍)、地図帳(帝国書院)、資料集、社会科手引き ○学習の興味を高め、理解を深めるため、絵、写真、ビデオなどを教材として活用します。また、コンピュータのインターネット情報を教材として活用します。</p>

留意事項

<p>(1) 学校での学習だけでなく、日ごろから日常的に日本の歴史への関心を高めることが大切です。家族で散歩や旅行などに出かけるときには、歴史的な遺跡や遺物に触れる機会を計画に加えてみてはいかがでしょうか。また、地域にある文化財などを児童が自主的に調べに行き、地域の方に聞き取り調査をするときには、ご協力をお願いします。 (2) 政治の仕組みについては、抵抗感をもつ児童があります。日常生活の中から自然に政治への関心をもてるように、新聞やテレビによる国会の報道、選挙などについて、家族で話してみるのもいいですね。</p>
--